

## がん診療連携拠点病院の現況について

- ◎ 本年8月に都道府県を通じてがん診療連携拠点病院の現況を把握した結果は以下の通り。
- ◎ 結果は、がん診療連携拠点病院286施設のうち、締切り期限までに回答があった267施設の現況を整理したものである。

### 1 放射線療法

<b>放射線治療を専門的に行う医師</b>			
常勤医師	平均2.0人		
うち、専従	平均1.3人	専従者2名以上の施設	24.3% (65施設)
		専従者1名の施設	39.0% (104施設)
		専従のいない施設	36.7% (98施設)
非常勤	平均0.46人		
<b>放射線診断医</b>			
総数	平均4.5人		
(うち、常勤医師)	(平均3.6人)	常勤の診断医がいる施設	92.5% (247施設)
		常勤の診断医がいない施設	7.5% (20施設)
<b>診療放射線技師 (常勤)</b>			
総数	平均16.3人		
うち、放射線治療に専従	平均2.8人		
<b>放射線治療に関する機器の精度管理等に従事する者 (常勤)</b>			
総数	平均2.6人		
うち、専従	平均0.5人	専従者のいる施設	34.8% (93施設)
		専従者のいない施設	65.2% (174施設)
<b>放射線治療機器</b>			
リニアック	平均1.3台	(うち、マルチリーフコリメーター付	平均1.1台)
		リニアックのある施設	93.2% (249施設)
		リニアックのない施設	6.7% (18施設)
治療計画装置	平均1.4台		
治療専用CT	平均0.9台		
<b>放射線治療部門</b>			
放射線治療部門のある施設: 45.7% (122施設)			
(* ) 特定機能病院及び都道府県拠点病院 (49施設) に限れば、59.2% (29施設)			
放射線治療部門のない施設: 54.3% (145施設)			
<b>(参考)診療報酬上の届出</b>			
放射線治療管理料・放射線治療専任加算			
算定している施設: 80.1% (214施設)			
算定していない施設: 19.9% (53施設)			
直線加速器による定位放射線治療			
算定している施設: 33.7% (90施設)			
算定していない施設: 66.3% (177施設)			

## 2 化学療法

化学療法を専門的に行う医師	
<p>自らが所属する診療科のみならず、他の複数の診療科における患者にも対応する医師          (常勤医) 平均3.4人 常勤医のいる施設 : 55.4% (148施設)          (非常勤医) 平均0.2人 常勤医のいない施設 : 44.6% (119施設)</p> <p>主に自らが所属する診療科の患者に対してのみ対応している医師          (常勤医) 平均23.8人 常勤医のいる施設 : 94.0% (251施設)          (非常勤医) 平均 3.1人 常勤医のいない施設 : 6.0% ( 16施設)</p>	
化学療法に精通した薬剤師 (常勤)	
<p>平均3.5人 (うち、外来化学療法室に専従の者 平均0.7人)          外来化学療法室に専従の者がいる施設 : 33.3% ( 89施設)          外来化学療法室に専従の者がいない施設 : 66.7% (178施設)</p>	
化学療法に精通した看護師 (常勤)	
<p>平均9.1人 (うち、外来化学療法室に専従の者 平均1.7人)          外来化学療法室に専従の者がいる施設 : 76.0% (203施設)          外来化学療法室に専従の者がいない施設 : 24.0% ( 64施設)</p>	
化学療法の治療計画 (レジメン) を科学的根拠に基づき審査し、 組織的に管理する委員会の有無	
<p>委員会のある施設 : 59.2% (158施設)          委員会のない施設 : 40.8% (109施設)</p>	
外来化学療法室(→詳細は次ページ)	
<p>外来化学療法室を設置している施設 : 94.4% (252施設)          外来化学療法室を設置していない施設 : 5.6% ( 15施設)</p>	
外来化学療法を受けている患者の容態が急変した場合に備え、急変時に直ちに対応できる医師 が外来に常駐しているかどうか	
<p>常勤している施設 : 81.3% (217施設)          常勤していない施設 : 18.7% (50施設)</p>	
外来化学療法部門の有無	
<p>化学療法部門のある施設 : 33.7% (90施設)          (*) 特定機能病院及び都道府県拠点病院 (49施設) に限れば、59.2% (29施設)          化学療法部門のない施設 : 66.3% (177施設)</p>	

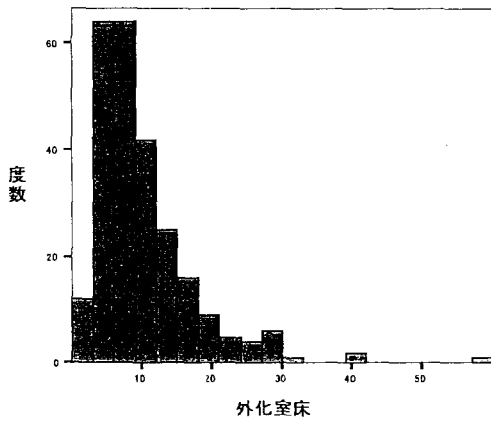
外来化学療法室の状況 (注) 外来化学療法室を設置している252施設の状況

外来化学療法室を専ら統括、管理する常勤医師の有無

統括医のいる施設： 55.6% (140施設)

統括医のいない施設： 44.4% (112施設)

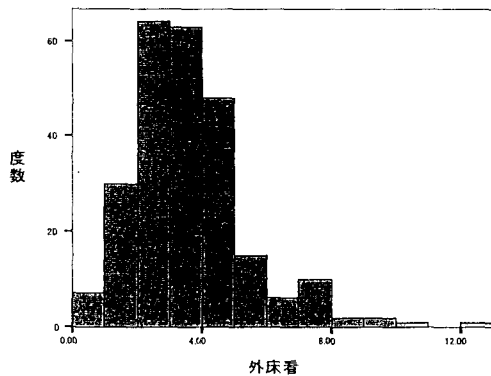
病床数



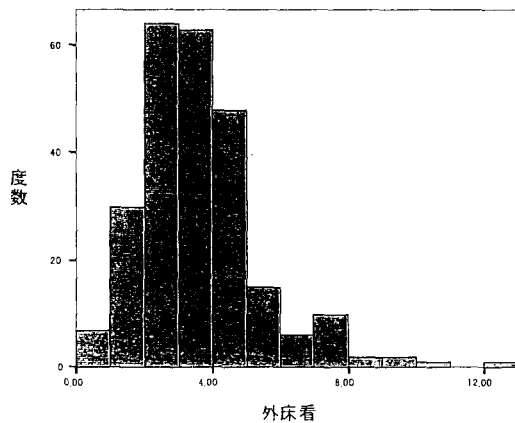
平均10.8床

- ・ ~10病床 55.9% (141施設)
- ・ ~20病床 32.9% (83施設)
- ・ 20病床以上11.1% (28施設)

日勤帯(化学療法の治療中)における看護師数 (平均3.2人)



病床あたりの看護師数 (平均3.9人)



### 3 緩和ケア

緩和ケアチームの構成		
	総 数	うち、専従／専任
身体症状を担当する常勤医師	平均2.9人	平均0.4人／平均1.5人
精神症状を担当する常勤医師	平均0.9人	平均0.1人／平均0.5人
常勤看護師	平均4.5人	平均1.3人／2.5人
コメディカルスタッフ	平均0.5人	—

身体症状を担当する常勤医師がいる施設 : 97.0% (259施設)  
     うち、専従者がいる施設 : 18.4% (49施設)  
     専任者がいる施設 : 44.9% (120施設)  
 身体症状を担当する常勤医師がいない施設 : 3.0% (8施設)

精神症状を担当する常勤医師がいる施設 : 64.4% (172施設)  
     うち、専従者がいる施設 : 4.5% (12施設)  
     専任者がいる施設 : 30.3% (81施設)  
 精神症状を担当する常勤医師がいない施設 : 35.6% (95施設)

精神症状を担当する医師がいない場合 (95施設)、精神症状の緩和について他の医療機関からの協力が得られている体制整備の有無  
     協力体制のある施設 : 52.6% (50施設)  
     協力体制のない施設 : 47.4% (45施設)

常勤看護師がいる施設 : 95.6% (256施設)  
     うち、専従者がいる施設 : 27.3% (73施設)  
     専任者がいる施設 : 43.1% (115施設)  
 常勤看護師がいない施設 : 4.1% (11施設)

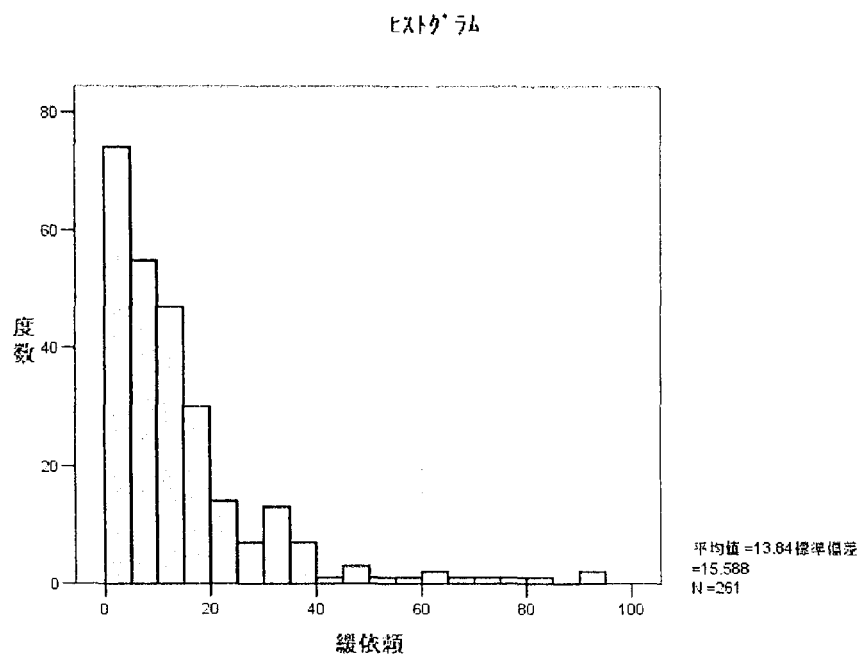
コメディカルスタッフ (専従) がいる施設 : 16.1% (43施設)  
 コメディカルスタッフ (専従) がいない施設 : 83.9% (224施設)

緩和ケア外来の有無	
緩和ケア外来のある施設	: 31.1% (83施設)
緩和ケア外来のない施設	: 68.9% (184施設)

(参考)診療報酬上の届出

緩和ケア診療加算を算定している施設	: 14.6% (39施設)
緩和ケア診療加算を算定していない施設	: 85.4% (228施設)

緩和ケアチームに対する新規診察依頼件数（平均13.8件／2ヶ月）

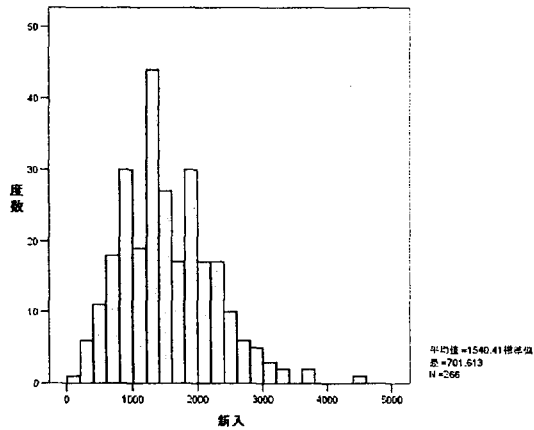


#### 4 その他

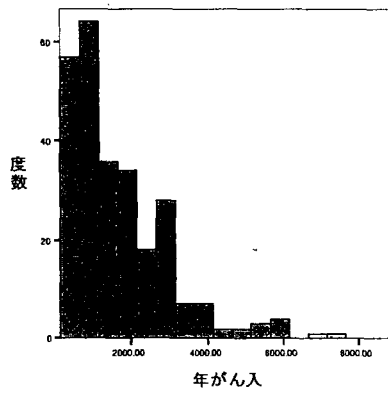
<b>セカンドオピニオンの受入体制の有無</b>	
セカンドオピニオンの受入体制がある施設	92.5% (247施設)
セカンドオピニオンの受入体制がない施設	7.5% (20施設)
<b>がんセンターボードの設置状況</b>	
設置している施設	23.6% (63施設／267施設)
設置していない施設	76.4% (204施設／267施設)
<b>病理医</b>	
総数	平均3.3人
(うち、常勤医師)	(平均2.2人)
常勤の病理医がいる施設	86.5% (231施設)
常勤の病理医がいない施設	13.5% (36施設)

(参考) 病院規模 (病床数、新規入院がん患者数)

病床数



新規入院がん患者数 (注: 平成 19 年 4 月及び 5 月の 2 ヶ月間の患者数に 6 を乗じたもの)



新規入院患者に占めるがん患者の割合

